

4/7 第48回 しもつま砂沼桜まつり 春のまつり

桜満開の暖かな砂沼湖畔で4月7日、「第48回しもつま砂沼桜まつり」が開催されました。観桜苑会場ではカラオケ大会、大町はやし保存会の演奏、砂沼一周歩こう会などが行われ、筑波銀行駐車場特設ステージではハンドメイドマーケット、紅白もちの無料配布や多賀谷太鼓の演奏などが行われて、市内外から約5,000人が来場しました。



休憩しながら花見と散歩



スタンプラリーの受け付けをする来場者



桜満開の砂沼湖畔



会場を盛り上げる大町はやし保存会の演奏



ハンドメイドマーケットを楽しむ来場者(筑波銀行特設会場)



ワークショップを体験する来場者(筑波銀行特設会場)



金魚すくいを楽しむ子どもたち



紅白もちの無料配布に並ぶ来場者

4/14 姉妹都市福井県あわら市長も甲冑で武者行列 第13回 多賀谷時代まつり

13回目となる「多賀谷時代まつり」が4月14日、多賀谷城跡公園で開催されました。

平成27年11月に姉妹都市を提携した福井県あわら市からは、初代福井藩主・結城秀康の重臣、多賀谷左近三経のあわら市の墓所を守る「多賀谷左近三経奉賛会」や「金津祭保存会」のメンバーなど26人が参加し、来場者にあわら市の魅力をPRし、佐々木康男あわら市長は甲冑姿で、菊池博下妻市長とともに出陣の儀式に臨みました。

恒例の川越藩火縄銃鉄砲隊保存会による砲術演武では、迫力いっぱいの轟音と白煙が、集まった約5,000人の観客を圧倒しました。

特設ステージでは、おはやしや尺八の演奏、詩舞などが披露され、公園周辺では万燈神輿や山車も練り歩き、まつりを盛り上げました。



まつりの安全を祈願する多賀谷左近三経奉賛会酒井禮祿会長



公園周辺を練り歩く万燈神輿



轟音響く川越藩火縄銃鉄砲隊保存会の砲術演武



あわら市の魅力をPRするあわら市の皆さん



出陣太鼓を披露する下妻多賀谷太鼓



甲冑姿で武者行列に参加する菊池市長と佐々木康男あわら市長(右)



開会式であいさつをする佐々木あわら市長



満開の桜の中行われた渡御



力を合わせて神輿を担ぐ参加者



祭支度に身を包み家族、友人らと渡御を楽しむ参加者



会場に轟く下妻第一高等学校為櫻応援団のエール

